

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年11月24日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年11月24日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去設備吸着塔用高性能容器6移送配管合流部のピンホールについて】 協力企業作業員が、既設多核種除去設備吸着塔2(B)下部に15cm×15cmの水溜りを確認。現場状況を確認した結果、当該吸着塔用高性能容器6移送配管合流部からの漏えいを確認。当該箇所保温材を取り外したところ、溶接箇所の一部にごく小さいピンホールおよびにじみ程度の漏れを確認。応急対策として、止水材にて補修を実施し、リークチェックを行い、異常なしを確認。また、吸着塔は、他に複数あることから当該設備の運用には問題なし。今後、当該配管合流部の交換を予定。</p>	GⅢ	11月18日
2	<p>【サブドレン浄化設備pH緩衝塔(B)入口弁シート漏えいについて】 当直員がサブドレン浄化設備の系統水張において、待機側の前処理フィルタ3B側ベント配管からシート漏えいを確認。調査の結果、サブドレン浄化設備pH緩衝塔(B)入口弁のシート漏えいが前処理フィルタ3B側ベント配管への回り込み、漏れ出たものと推定。サブドレン浄化運転の際は、他の緩衝塔に切り替えるため問題なし。今後、予備品との交換を実施予定。</p>	GⅢ	11月18日
3	<p>【当社HP掲載の「護岸地下水観測孔 分析結果」の最高値一覧表の更新漏れについて】 設備主管箇所において、過去の分析結果のデータを精査していたところ、2021年2月20日公表済分の分析結果のうち、「護岸地下水観測孔No. 2-7」において、Co-60に最高値が出ていたにもかかわらず、担当箇所が最高値一覧表を更新する際にチェック漏れに気付かず、HPに掲載している最高値一覧表の更新が漏れてしまったもの。なお、日々公表している「護岸地下水・海水分析結果」に関する分析結果そのものには誤りがないことを確認。当該更新漏れ箇所については、11月25日に当社HPの更新を実施予定。今後、再発防止対策を検討予定。</p>	GⅢ	11月18日